

2015年3月24日

**電通、第18回「アジア太平洋広告祭（ADFEST 2015）」において、
「アドバタイジング・エージェンシー・オブ・ザ・イヤー」と
「インタラクティブ・エージェンシー・オブ・ザ・イヤー」を受賞**

第18回「アジア太平洋広告祭（ADFEST 2015）」※1が3月19日から21日の3日間、タイのパタヤで行われました。同広告祭において、電通のクリエイティブティーターが高く評価され、単独の広告会社として「アドバタイジング・エージェンシー・オブ・ザ・イヤー」※2と「インタラクティブ・エージェンシー・オブ・ザ・イヤー」を昨年に引き続き受賞しました。

電通が制作に関わった作品のうち、「デザイン」部門において、最高賞であるグランデ・ロータスを獲得したほか、電通グループ全体ではゴールド4、シルバー15、ブロンズ22とブランデッド・コンテンツ・ロータスを獲得し、合計43の賞を受賞しました。

（以下、数字は賞の数）

- ・フィルム部門（ゴールド1、シルバー3、ブロンズ3）
- ・アウトドア部門（ブロンズ3）
- ・インタラクティブ部門（シルバー3、ブロンズ3）
- ・モバイル部門（ブロンズ2）
- ・ダイレクト部門（ブロンズ1）
- ・プロモ部門（シルバー2）
- ・デザイン部門（グランデ1、ゴールド3、シルバー2、ブロンズ4）
- ・プリントクラフト部門（ブロンズ2）
- ・フィルムクラフト部門（シルバー3、ブロンズ3）
- ・メディア部門（シルバー2、ブロンズ1）
- ・ブランド・コンテンツ&エンターテインメント（ブランデッド・コンテンツ・ロータス1）

以上

※1：アドフェスト（ADFEST）は1998年に創設されたアジア太平洋地域最大の広告祭で、アジア広告協会連盟（AFAA）の後援によって運営されており、世界でも権威ある広告賞の一つとされています。今年は57都市から1,033名が参加し、フィルム、プレス、アウトドア、ラジオ、インタラクティブ、モバイル、ダイレクト、プロモ、デザイン、プリントクラフト、フィルムクラフト、ニューディレクター、メディア、ブランデッド・コンテンツ&エンターテインメント、エフェクティブ、インテグレートッド、イノーバ、ロータスルーツの全18部門で、合計3,295作品のエントリーがありました。

※2：電通は2011年、2012年、2014年に、電通グループのタブルート社（現タブルート電通、所在地：インド・ムンバイ市）は2013年に、それぞれ「アドバタイジング・エージェンシー・オブ・ザ・イヤー」を受賞しています。

■アドバタイジング・エージェンシー・オブ・ザ・イヤー



■インタラクティブ・エージェンシー・オブ・ザ・イヤー

